

パラリンピアンズ協会、未来の選手に奨学金

小学～大学生年 50 万円を給付

パラリンピック出場経験者で構成する一般社団法人日本パラリンピアンズ協会（河合純一会長）は 6 日、パラ大会出場を目指す学生を対象にした給付型の奨学金「ネクストパラアスリートスカラーシップ」を創設すると発表した。

給付額は年 50 万円で、募集人員は最大 4 人。応募資格はパラ大会を目指す小学生から大学生まで。クラス分けに該当する障害があることや、同協会主催の各種勉強会へ参加することなどいくつか条件がある。奨学金の財源は㈱スタイルエッジが提供す

る。来年度以降、ほかの企業にも寄付を呼び掛けたい考えた。

同協会担当者は「奨学生の選考からサポートまで、パラリンピアンが主体的に関わることで、次世代のリーダーを育てることができれば」と話している。

同協会はパラ大会に日本代表として出場経験のある選手有志による選手会で 2003 年に発足。現在会員は 219 人に上る。

問い合わせは同協会（Tel 03-6227-0160）まで。

（福祉新聞・第 2820 号 2017 年 7 月 24 日）